

■“活力・成長” “安全・安心”の2本柱で実施

“活力・成長”を支えるための物流の効率化や  
広域連携の強化に資する道路整備  
～国内外への広がり確保する道路ネットワーク～  
◆大阪の内外への円滑な交通の確保に寄与する路線  
◆産業拠点開発等に必要な路線

“安全・安心”を支えるための道路整備  
◆開かずの踏切対策（道路と鉄道の立体交差化）  
◆歩行者・自転車走行空間確保、バリアフリー化  
◆防災を支える都市基盤整備

■今後の道路投資の基本的考え方

今後、概ね30年で幹線道路ネットワークを概成させ、大量更新時代に向け維持管理に投資をシフトします。

(1) 第1ステージ 大規模継続事業にメド (H23～H32)  
「国際競争力を高めるための物流・産業活動を支える都市の戦略インフラが概成」  
＜活力・成長＞大和川線、新名神高速道路アクセス、府県間道路 等  
＜安全・安心＞・連立事業（東大阪・高石・泉大津）  
・道路施設の長寿命化、ライフサイクルコストの抑制など戦略的な維持管理に移行  
・自歩道整備、事故危険対策、バリアフリー化 等

(2) 第2ステージ 成長の定着と安全・安心の充実 (H33～H42)  
「戦略インフラの効果を府域に定着させる」  
＜活力・成長＞広域幹線道路ネットワークの更なる整備推進  
＜安全・安心＞・連立事業（枚方・寝屋川・摂津）  
・道路施設の長寿命化、ライフサイクルコストの抑制など戦略的な維持管理  
・自歩道整備、事故危険対策、バリアフリー化 等

(3) 第3ステージ 大量更新時代への移行 (H43～)  
「府民に密着した道路の質の向上と更新・大規模修繕事業をスタート」  
＜活力・成長＞現道拡幅事業などネットワークの総仕上げ  
＜安全・安心＞・戦略的な維持管理、更新・大規模修繕事業  
・自歩道整備、事故危険対策、バリアフリー化 等

■幹線道路ネットワークの将来形の見極め（路線仕分け）

